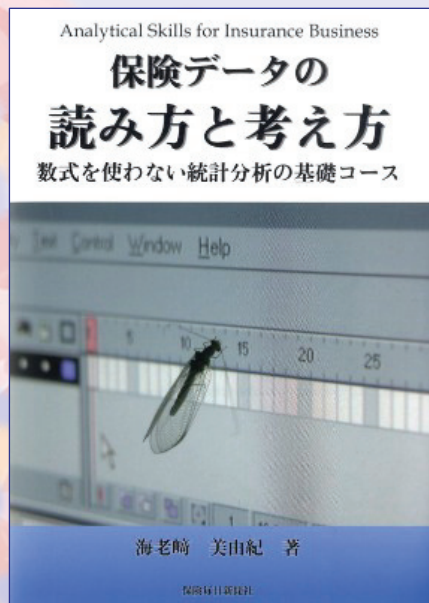


保険データの読み方と考え方

数式を使わない統計分析の基礎コース



保険毎日新聞社
2009年7月発刊
海老崎 美由紀
2010年3月18日

日本アクチュアリー会パネル資料

謝 辞

これまでお世話になった方々に心から感謝

- ASTIN関連研究会
- 旧同和火災、RSA、AIU、日本興亜グループ
- 日本アクチュアリー会、事務局
- Inswatch、保険毎日新聞
- 日本の保険業界、ロンドン・マーケット
- 友人、家族

内 容

- 実はデータベース構築(第6章)から始まった
 - データ・ウェアハウスを創る
- 契約ポートフォリオ分析の話
 - 地べたに足がついた損害保険統計の話
- GLMの話
 - アクチュアリーにとって最高のオモチャ
- 将来収支分析の話
 - 最近の話題を取り入れて

執筆の背景

- 外資系から国内社へUターン
 - せっかくの経験を記しておきたい
 - ASTIN関連研究会の再起動
 - モデルやデータの遊び仲間たち
 - はじめての出版
 - 多くの人に読んでもらうために
 - Word、小冊子印刷、中綴じ機、校正、索引、題、表紙、書評、広告、部数、読者の声
- ☆アクチュアリー会HP「お知らせ」書籍のご案内(2009/7/27)にリンクした専用FAX用紙を使って1割引(2,457円)

本書の持つ意味

- 損害保険のアクチュアリー、アンダーライターの実務について語る本
 - 確率分布やモデルなどの数学的なところではなく
- アクチュアリー以外の人にも伝えたい
 - 数式は使わない
- データ・ベース整備は、まだまだ課題山積み
- とりあえずやってみる、手を動かす大切さ
- 損害保険の話をする機会が増える

『ちょっと一言』

- やたらでてくるコラム欄です
- 本の主題から脇道にそれるけれども書いておきたかったこと
- ASTIN関連研究会で思わず盛り上がった話

『ちょっと宣伝』

- JARIP研修例会（3月29日）
自動車保険の価格と契約者行動
～契約更改動向分析の考え方とデータ整備～